

会社名 株式会社エー・ピーホールディングス  
(コード番号:3175 東証スタンダード)  
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 米山 久  
問合せ先 経営企画・IR室 室長 坂上 輝瑛  
(TEL. 03-6435-8440)

## 月次営業レポート(2025年4月度)

### I. 2026年3月期 国内飲食店 前年同月比(売上高・客数・客単価)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
全店	売上高前年比 (%)	107.7												107.7
	客数前年比 (%)	109.8												109.8
	客単価前年比 (%)	97.4												97.4
	当年店舗数(店)	136												136
既存店	売上高前年比 (%)	100.7												100.7
	客数前年比 (%)	104.6												104.6
	客単価前年比 (%)	97.0												97.0
	対象店舗数(店)	115												115

\* 2025年4月度 曜日合わせ後の既存店売上高前年比 : 100.7% ⇒ 曜日影響 +0.0ポイント

(注)

- 決算確定前の数値によって算出しております。
- 既存店:オープン後13ヵ月経過した店舗、但し業態変更等により稼働しない期間は当該月のみ除外
- 客数:ディナー客数(ランチ除く)
- 客単価:ディナー客単価(ランチ除く)
- 曜日影響:前年と当年の月内の曜日日数の違いによる影響

#### 【月次ハイライト】

4月は、訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要に加え、ゴールデンウィークの外出需要や好天にも恵まれ、外食需要が大きく伸びました。既存店においては、前期より不振店の撤退を進めていた居酒屋セグメントが好調に推移し、既存店売上高は100.7%、既存店客数は104.6%となりました。一方で、ファストフード業態の立ち寿司横丁を含むレストランセグメントの売上高が上昇したことに伴い、グループ全体の売上高構成比に変化が見られ、既存店客単価は前年比で低下しております。引き続き、「食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、変化する消費環境に対応し、強みである一次産業との深い繋がりを活かしたブランド作りを推進してまいります。

### II. 2026年3月期 店舗数の状況

区分	前期末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国内	居酒屋事業	62	61										
	専門店事業	48	49										
	レストラン事業	26	26										
	小計	136	136										
海外	19	19											
直営店合計	155	155											

#### 当月出退店情報

出店  
四十八漁場つくば店

退店  
塚田農場南千住店

業態変更  
該当なし

## <月次トピックス>

### ① 塚田農場プラス<ファベックス惣菜・べんとうグランプリ 2025>にて金賞受賞！

**塚田農場**  
おべんたらボ



首都圏を中心に中食事業を展開する塚田農場プラスの「岩手県大船渡漁港 目利きが選んだ天然真鯛の極上鯛めし幕ノ内」が、日本食糧新聞社が主催する「第16回 ファベックス 惣菜・べんとうグランプリ 2025」の「地方食材・調理法部門」にて金賞を受賞しました。本商品は岩手県大船渡漁港に揚がる天然真鯛のうち、一般的に流通する規格より小さいことを理由に市場価値が低かったり、規格外として廃棄や餌にされたりと、十分に活用されていなかった天然真鯛を使用しています。

塚田農場プラスでは、今回の受賞を機に今まで以上に生産者とのつながり、食材の価値、限りある資源を大切にしながら引き続き「安心で美味しい弁当づくり」に邁進いたします。

塚田農場プラス<ファベックス惣菜・べんとうグランプリ 2025>にて金賞受賞！>：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000561.000004635.html>

### ② 【新店情報】四十八漁場 つくば店 オープン

魚貝専門 漁師直結  
**四十八漁場**



2025年4月21日（月）、茨城県つくば市に、四十八漁場の北関東エリア初出店となる『四十八漁場 つくば店』をオープンいたしました。四十八漁場は“旨い魚を、旨いままに”を掲げ、日本各地の旬魚を最も美味しい状態でお届けする海鮮の専門店業態です。各地から届く鮮魚だけでなく、茨城県の地酒や地の食材を採り入れてまいります。つくば市は、研究機関、大学をはじめとした教育機関や、JAXAなどの研究施設が集まる知的好奇心に満ちたエリアであると同時に、首都圏のベッドタウンとして人口増加が続いていることから、ファミリー客にも気軽にご利用いただけるようお子様向けメニューやドリンクを新たに展開しています。

四十八漁場 つくばオープン：<https://ap-holdings.jp/news-and-action/20250421-2/>